

- 記事 1. 「平成25年度地下鉄関係の予算措置状況等に関する説明会」を開催
2. 「鉄道構造物の耐震研究会」を大阪で開催

1. 平成25年度地下鉄関係の予算措置状況等に関する説明会を開催しました。

去る2月26日(火)13時30分から、(社)日本地下鉄協会の5階会議室において「平成25年度地下鉄関係の予算措置状況等に関する説明会」を開催し、国土交通省鉄道局都市鉄道政策課堀内丈太郎課長、同課中澤修課長補佐及び高乗駅機能高度化推進室長並びに総務省自治財政局公営企業経営室北澤剛課長補佐、同室関本徹係長が出席の下、年度末の業務多忙な中、東京地下鉄(株)、東京都交通局、横浜市交通局など10事業者の財務担当者19名の方々の参加を得て、平成25年度地下鉄関係の国の予算や地方財政措置等の説明があり、意見交換がなされました。

まず、鉄道局堀内都市政策課長からの挨拶のあと、同課の中澤課長補佐から平成24年度予算の補正措置の内容、25年度の予算内容及び当協会から要望していた「平成25年度の予算要望事項と措置状況」について説明があり、また高乗駅機能高度化推進室長から「エコレールラインプロジェクト」の制度内容について概要説明がなされた。これら説明に対し、地下鉄事業者から多々質問があり、丁寧な回答がありました。鉄道局からは、老朽化や浸水対策について、新規予算要求を前向きに考えたいので、期間、範囲が無制限とならず、説得力のある要求内容を考えてほしいとの注目すべき発言がありました。

続いて、総務省自治財政局公営企業経営室北澤剛課長補佐から平成24年度予算に係る地方財政の補正措置の内容、25年度の交通事業に係る地方財政計画と地方債計画及び当協会から要望していた「平成25年度の予算要望事項と措置状況」について説明があり、とりわけ関心の高い25年度以降の「新特例債制度」、「繰上償還問題」について分かり易い資料により丁寧な説明がありました。また「老朽化対策に係る対応」についても質疑がなされ、平成26年度への対応についても議論があった。



①説明会の模様～その1～



②説明会の模様～その2～

2. 「鉄道構造物の耐震研究会」を大阪で開催いたしました。

去る2月27日(水)14時から、大阪府中央区の会議室において鉄道構造物の耐震についての研修会を開催いたしました。本研修会は、鉄道事業者に関わる知識を幅広く習得いただくために毎年普通会員を対象として関西と東京で各1回開催しているもので、今回関西地区で開催した同研修会には12鉄道事業者22名が参加されました。

研修会のテーマについては、会員から実施について要請の高いものから選定しておりますが、本年度は、兵庫県南部地震及び東北地方太平洋沖地震の発生を受け改訂された鉄道構造物等の設計標準(耐震設計)の内容及びこれを踏まえた今後の鉄道行政の動向をテーマに、国土交通省鉄道局施設課水野専門官及び技術企画課重村係長を講師にお招きして、性能評価型設計法の導入や新たな技術的知見の追加など平成24年耐震基準の主なポイントについて講義いただきました。また、今後の鉄道行政の動向としては、平成25年4月に施行予定で、現在パブリックコメントの案件である「特定鉄道施設等に係る耐震補強に関する省令」(案)等の内容について説明を受けました。

引き続き行った、質疑応答では、復旧性を検討するための地震動の設定や高架駅の上屋等の建築物が付帯されている構造物等の耐震性検討手法の整合性等、多くの質疑がなされ講師から丁寧な回答が行われた。この他、鉄道事業者から耐震補強の補助制度の拡充と協調補助の見直しについて要望がありました。

研修会の模様①



研修会の模様②



平成25年度「児童福祉週間」の標語 ; 入選作品

「だいじょうぶ?」心が和らぐ おまじない (川瀬 駿太さん 5歳 香川県)

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp